

東宝

創立30周年
記念映画

ゴジラ勝つか？コング勝つか？世紀の大決斗！

監督・本多猪四郎
特撮・円谷英二
監製・田中友幸

堺 左千夫 三島 雅也
根岸 明美 沢村 昌子
ハロルド・ロウ 大村 千景
ダグ・ランサム エン
オスメン・ユース
小田 武義 三島 雅也
小杉 義男 田島 隆春

有平松田 若浜 藤佐高
島田村崎 林 木原島
一昭達 映美 健忠
郎彦雄潤 子枝 悠二夫

総天然色

KING KONG VS GODZILLA
Colour by Eastman

キングコング対ゴジラ

脚本・関沢新 美術・北 猛夫 録音・伊福部昭 特・技 撮影・有田貞典 美術・渡 辺 明 合成・向山 義
撮影・小泉 阿倍輝明 照明・高橋利雄 整音・下永 岡 スタッフ 富岡素敬 照明・岸田九 一郎 東宝株式会社製作・大船
Printed in Japan © Toho Co., Ltd. 1955

キングコング対ゴジラ

■ものがたり

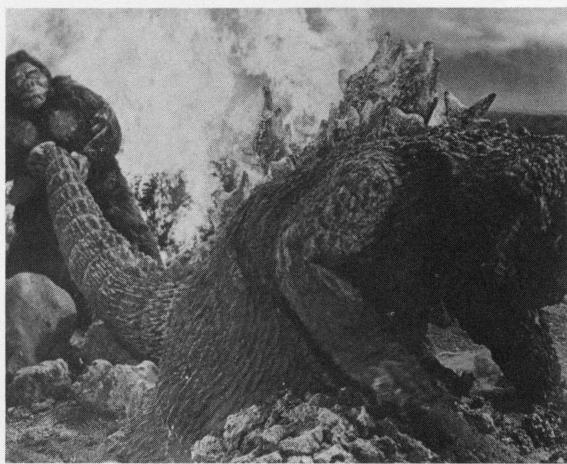
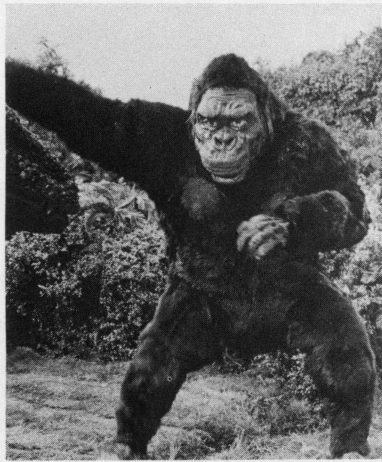
「世界の驚異シリーズ」の視聴率がさがり、スポンサーに尻をたたかれたT Vテレビでは、ソロモン群島の土人たちが信じている「巨大なる魔神」を新しい企画にのせようと、フアロ島へ、スタッフを送ることにした。

一方、北極海を航海の原子力潜水艦がそうなんするが、冷凍冬眠からさめたゴジラのしわざと分った。ゴジラは日本に向って南下をはじめた。

「巨大なる魔神」のフアロ島で桜井カメラマンと古江演出部員が見たものは、身長45メートルのキングコングだった。たまたまあらわれた大ダコを一撃して、土人たちの木の実の赤い汁をのむと、しだいに動きがぶくなり、こんこんと眠ってしまった。そのまま生けどりにされ、大きないかだにしばらく太太平洋を一路、東京へ向う。二人はこれ以上の宣伝はないと大よろこびだった。

ゴジラはついに松島へ上陸、さらに南下して来た。そのころ、キングコングが目を見ました。動物本能からゴジラを求めて北上をはじめた。

近代兵器をうけつけないゴジラに対して、水爆以外、何が我々を救ってくれるか、いっそのことキングコングをゴジラにつつけては



——二頭のたたかいは日光の中禅寺湖で火ぶたが切られた。ゴジラのはく放射能に頭をかいてにげるキングコングに対し、ゴジラは防衛隊の百万ボルトの高圧電線によって富士山ろくにひなんした。

体せいを立てなおしたコングは、ゴジラを追って東京へ進む。そして高圧線にふれた時ものすごい火花がちり、高圧感電のショックで放射能をはねかえす帯電体質となり、前にもまして胸をたたき、両手を高々とあげ、いっそう強力な怪獣になってしまったのだ。

東京を荒しまわったコングは、防衛隊の落したフアロ島の赤い果汁を合成したマスイ弾によってゴロリと横になってしまった。

近代兵器も役にたたないゴジラ、コング両者をたたかわせて自めつを計った防衛隊は、気球でコングをつり下げて富士山へ運ぶ。

富士の頂上がバラ色にそまる頃、空からキングコング、これをむかえうつゴジラ。東西両雄のすさまじいたたかいが今、はじまろうとしている——

両雄の比較

●キングコング

身長・45メートル
体重・2万5百トン

■キャリア・高射砲の弾

もはねかえし百万ボルトの電圧にもびくともしない不死身

大試合の経験はないが身長50メートルの大蜥を八つ裂きになっている

の驚異

■パンチ・怪力が身上だけに一発は強烈だ

尾の破壊力は抜群だが正面から攻められると弱い

■テクニク・世界一流、放射能噴出は無敵、これに優る武器はない

知能的な攻防が考えられる帯電体質であるから放射能は考慮に入らない

■スタッフ

製作……田中 友幸
脚本……関沢 新一
監督……本多猪四郎
撮影……小泉 一
音楽……伊福部 昭
特技監督……円谷 英二

■キャスト

桜井 修……………高島 忠夫
桜井 ふみ子……………浜 美枝
藤田 一雄……………佐原 健二
古江 金三郎……………藤木 悠
多湖 部長……………有島 一郎
重沢 博士……………平田 昭彦
東部方面隊総監……………田崎 潤
たみ 江……………若林 睦子

(昭和三十七年八月 封切)